

ひがし

通算第 101 号

2024.10.15 No.17

東飯田地区人権学習 講演会の報告

9月27日に東飯田地区人権学習講演会が開催されました。「なぜ感謝する人は運が良いのか」障害さえ感謝するたけのお話」という演題で河村武明さんが京都からリモートで講演して下さいました。

河村さんは、34歳の時、脳梗塞を発症し、言語障害、聴覚障害、失語症、右片麻痺という重い障害を負いました。講演は、お連れ合いさんが河村さんの思いを代読するという形で行われました。

河村さんは、自分のことを「日本一無口な絵描き」詩と絵のアーティストですと自己紹介していました。

河村さんは、なくしたものを

数えたらきりが無い。自分は左手で絵がかけれる。歩くこともできる。チャレンジすればチャンスは訪れるという発想で、路上で自分の絵を売ることから始めます。それが高島屋のバイヤーの目に留まり、高島屋で個展を開くようになったそうです。そんな超前向きな生き方をしてきた河村さんの講演で心に残った言葉を紹介します。

・人間の可能性は無限だ。

・自分でワクを作っている人が多い。自分のワクから飛び出

そう。

・普段の生活な中で感謝することの大切さに気がついた。

そしたら、周りの世界がだんだん色づいて見えてきた。

・幸せとは気づくものです。

・言葉はブーメランのように

自分に返って来る。

・発想の転換が大切。

・毎日寝る前に、十分間、自分で自分のことを褒めてあげよう。

たくさんの方の参加ありがとうございました。

東飯田小学校の研修・広報部のみなさん講演会のお世話ありがとうございました。